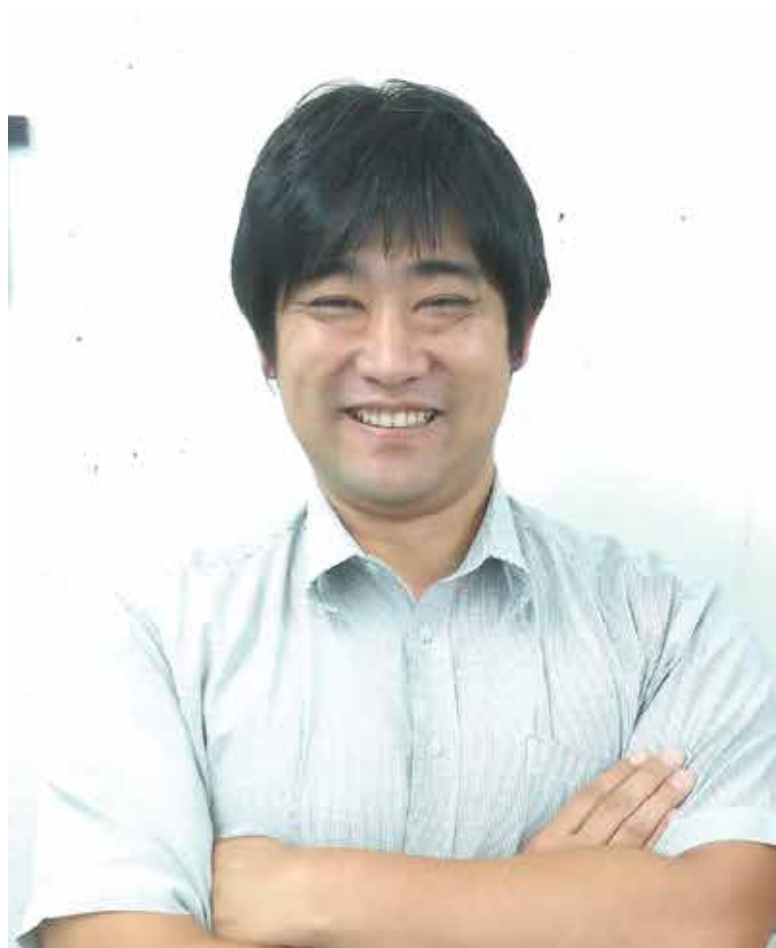


# 受注から創出へ

# 地方発IT企業の転換



株式会社アドネット

代表取締役 浜田 真吾 氏

普通寺市上吉田町8-5-19



印刷・広告を起点に歩みを始めた一社が、時代の波を読み取りながらIT企業へと進化を遂げた。

受注型ビジネスを主軸としてきた同社は今、自社主導のプロダクト開発へと大きく舵を切っている。

AIやDXといった急速に変化する市場環境の中で、地方に拠点を置きながらグローバルな開発体制を構築し、新たな価値創出に挑む。

その戦略の背景と、地域企業としての使命感を聞いた。

▽これまでの歩みについて  
当社の前身は、1990年2月に現会長・浜田利明が創業した広告代理店「アドポスト」です。

印刷・広告を起点に事業を展開してきましたが、時代の変化に対応しながらデジタル領域へとシフトしてきました。2010年には社名を「アドネット」に変更し、現在はWeb制作やシステム開発、アプリ開発を中心に、企画から運用まで一貫して手がけています。

私は現在44歳で、大学では人間科学科を専攻していました。人間の心理や行動についてたくさん学びました。

しかしながら当時からIT市場の拡大を見据えていたこともあり、卒業後は専門学校で技術を学び、大阪でIT企業での就職し、各大手様のシステム開発に携わりました。その後当社に入社しました。

営業とシステム開発の両方に携わりながら現場経験を重ね、2024年に社長へ就任しました。先代からは特に営業の姿勢について多くを学びました。

## ▽事業承継後の取り組み

これまで当社は受注型のビジネスが中心で、お客さまからの依頼に応

